

# 平成 25 年度 次世代育成基金活用事業実施報告書

杉並区次世代育成基金は、多くの可能性を秘めた子どもたちが抱く、将来の夢につながるように、様々な分野で貴重な体験や異なる地域の人たちとの交流ができる取り組みに活用されています



活用事業名		対象児童・生徒	規模	参加人数	基金活用額	
小学生	国内子ども交流会	名寄市	小学 4~6 年生	3泊4日 × 2回	25名	1,727千円
		東吾妻町		2泊3日 (杉並区)	25名	377千円
	名寄自然体験交流		小学 5・6 年生	2泊3日	25名	688千円
中学生	小笠原自然体験交流		中学 1~3 年生	6泊7日	28名	2,256千円
	交流自治体親善野球大会		中学 2 年生	3泊4日	30名	1,337千円
	海外留学		中学 1~3 年生	12泊13日	15名	3,006千円

※ 平成 25 年度に実施したこれらの事業は、各事業費総額の内、子どもの参加に係る費用の2分の1に相当する額について基金を活用し、その他の費用は区の一般会計から支出しました。

## 国内子ども交流会（名寄編）

7月28日から3泊4日で、杉並子ども親善大使となった小学生25名が北海道名寄市を訪れ、現地の子どもたちとともに、ピシヤリジャンプ台や世界有数の天体望遠鏡がある北すばる天文台を見学し、北海道の大自然を体験しながら交流を深めてきました。

8月5日には、北海道で歓迎してくれた名寄市の子どもたちが杉並区を訪れ、今度は杉並子ども親善大使が、児童福祉施設ゆう杉並で歓迎し、3泊4日の間、寝食をともにしながら、阿佐谷ウォークラリーや東京の名所めぐりなどの歓迎プログラムを通して、さらに友情を深めました。



## 小学生編

○仲良くなった友だちと別れるのは辛かった。これからは、手紙で交流を深めていきたい。(小学4年生・女子) ○最初はだれも知り合いがいなくて不安だったけれど、交流会を通して仲良くなった友だちができた。次は家族で訪ねてきたい。(小学5年生・男子)



## 国内子ども交流会（東吾妻編）

東吾妻町との子ども交流会は、隔年で、交互に訪れ交流をしています。今年度は、8月18日に東吾妻町の子どもたち25名を、新たに任命された杉並子ども親善大使25名が杉並の児童福祉施設ゆう杉並で迎え、2泊3日の間、寝食を共にし、区内ボウリング場でのレクリエーションや環七地下調節池の見学などの歓迎プログラムを通して、交流を深めました。

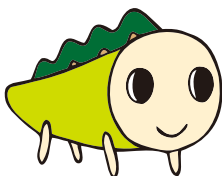
## 名寄自然体験交流

真冬には、氷点下20度にもなる北海道名寄市へ、年末の12月26日から2泊3日で訪れ、寒さ厳しい冬の北海道の生活を直に体験し、スノートレッキングやカーリングなど、冬の北海道ならではのスポーツも体験しました。

参加した子どもたちは、事前学習会3回と事後の学習会を踏まえ、2月16日には、区立科学館で学習成果報告会を行いました。



○世界の代表に日本人として選ばれた若田光一さんが働いている宇宙ステーションを見ることができ、すごく感動した。(小学5年生・女子) ○環境や自然が人々の生活も変える一方で、人々のあたたかい心は、どこに行っても変わらないということを実感した。(小6男子)



## 小笠原自然体験交流

7月23日に竹芝桟橋から、おがさわら丸に乗船し、約20時間の船旅の後、世界自然遺産に登録された小笠原村を訪れました。小笠原の青々とした海でのシュノーケリングやイルカと泳ぐ海の自然体験をしたり、小笠原の自然と歴史を見学し、固有種の自然保護活動を学習しました。地元の中학생や大人の人たちとの交流では、かけがえのない時間を過ごすことができました。船内を含めて5泊6日の体験は、とても有意義な時間でした。



シュノーケリング体験



自然環境学習

○外来種問題の深刻さと、必死に環境保全に取り組んでいる小笠原の人々を見て、自分たちも身近な自然を大切にするべきだと思った。(中学2年生・男子) ○美しい自然、すばらしい仲間に出会い、現地の中학생との交流を通し、自然について多くのことを考えさせられた。(中学2年生・女子)

## 中学生編

### 交流自治体親善野球大会

3年前から始まった台湾台北市と杉並区の中学生野球交流。25年度は、南相馬市と名寄市の中学生選手団とともに、12月26日に台湾台北市を訪れ、地元の中학생との交流の後、翌日から2日間にわたって、熱戦を繰り広げました。昨年、杉並での開催では台北市のチームに1勝もできなかった杉並の選手団は、見事雪辱を果たしました。



親善野球大会



親善野球大会

## NEWS!

### <台北市との対戦成績>

大理高中(3)×(1)杉並E  
長安國中(0)×(2)杉並E  
重慶國中(2)×(8)杉並W  
興福國中(0)×(2)杉並W  
長安國中(3)×(1)杉並W  
大理高中(0)×(4)杉並W  
重慶國中(0)×(6)杉並E  
陽明高中(6)×(5)杉並E  
杉並イースト2勝2敗  
杉並ウェスト3勝1敗

## 海外留学

平成25年度から始まった取り組みで、公募審査を通った杉並の15名の中학생は、10月17日に成田を出発し、翌18日からの12日間、杉並区との交流都市オーストラリア連邦ウィロビー市へ留学をしてきました。ウェルカムパーティの英語でのプレゼンテーション、現地校での体験入学、ホームステイ先での生活など、短い留学期間でしたが、十分な国際感覚を養うことができました。

○海外では言葉が通じないという先入観から、なかなか海外に目が向かなかったが、英語が話せれば一気に視野が広がり、世界が近い存在になると感じ、日本に帰ってからは今まで以上に英語を勉強するようになった。(中学3年生・男子)

中学生的取組では、事前事後の学習を経て、成果報告会を行いました。

日時 平成26年1月25日  
会場 座・高円寺

### ウィロビーの仲間と会食



### 英語でプレゼンテーション



# 次世代育成基金へのご寄附ありがとうございました

平成 25 年度は、多くの皆さんにご支援いただき、148 名の子どもたちが次世代育成基金を活用した事業に参加し、自分たちの夢に向かって、健やかに育っています。次世代育成基金は、これからも一人でも多くの子どもたちの夢を育てられるように、皆さんとともに、この基金を大きく育てていきたいと考えています。

次世代育成基金の趣旨をご理解いただき、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

平成 25 年度に次世代育成基金へいただいた寄附 **221 件 30,353,809 円**

- 1 万円以上のご寄附をいただいた方には、この基金を活用した体験・交流事業に参加した子どもたちの報告会等のご案内をさせていただきます。  
また、事業に参加した子どもたちの声などを掲載した報告書なども随時お送りさせていただきます。

- 次世代育成基金への寄附金の税法上の取扱いについては、次のとおりです。

<個人の場合> 杉並区に対する寄附金（「ふるさと寄付金」）として、2,000 円を差し引いた額（限度額あり）について、原則として所得税・個人住民税から全額が控除されます。

<法人の場合> 寄附した当該事業年度において、限度額に関係なく全額を損金に算入することができます。

※ 寄附金控除に関する詳細や手続き方法について、所得税及び法人税については住所を管轄する税務署、個人住民税については、区役所課税課へお問い合わせください。

- ご寄附いただいた方（希望者のみ）のお名前は、広報すぎなみや区ホームページで公表いたします。

## 寄附のお申し出・お問い合わせ先（担当窓口）

杉並区児童青少年課青少年係（受付時間：平日 8:30 ～ 17:15）

TEL 3393-4760 FAX 3393-4714